一般財団法人家電製品協会　認定センター

【重要】受験される皆さまへのお願いと試験における注意事項について

1．受験日に必ず持参いただくもの

CBT 方式試験では受験票はありません。

試験会場の受付にて「本人確認」を行いますので、所定の本人確認書類(※)を忘れずに持参してください。

1 点の持参でよい証明書 （いずれも顔写真付き）	2点の持参を要す証明書
・運転免許証 ・パスポート ・マイナンバーカード ・学生証 ・社員証 ・その他公的機関が発行する顔写真付き証明書	・社員証（顔写真がない場合） ・学生証（顔写真がない場合） ・住民票（交付日より 3 ヵ月以内） ・その他公的機関が発行する証明書

※本人確認書類についての注意事項（健康保険証および住民基本台帳カード）

健康保険証につきまして、2024 年 12 月 2 日より「健康保険証」の新規発行が停止され、発行済みのものも 2025 年 12 月 2 日以降は使用できなくなったことに伴い、2026 年試験より本人確認書類としてご利用いただけません。

また住民基本台帳カードにつきましても、2025 年 12 月 31 日をもって、発行されているすべてのカードの有効期限が切れましたので、2026 年試験より本人確認書類としてご利用いただけません。

本人確認書類をご準備の際、上記ご留意願います。

※マスクに関しまして

個人の主体的な選択を尊重し、マスクの着用は個人の判断に委ねることとしております。

本人の意思に反してマスクの着脱を強いることがないよう、また、個人の主体的な判断が尊重されるよう、他の受験者様へのご配慮をお願いします。

ただし、本人確認の際は、マスクを外すことをお願いします。

2．試験当日について

台風や地震など自然災害、あるいはそれに起因する交通障害の発生状況にご留意ください。特に特別警報や各種警報発令時などは「安全第一」で受験可否を判断されるようお願いします。

上記のような状況により、やむを得ず試験を中止する場合には、適宜、家電製品協会認定センターのホームページにて告知します。また、必要に応じて、登録いただいているメールアドレス宛に情報発信する場合がありますので、nintei-info@aeha.or.jp　及び　nintei-info@cbt-s.com からのメールを受信できるように設定をお願いします。

なお、試験当日に不測事態が発生した場合には、受験サポートセンターTEL03-5209-0553 までご連絡ください。

3. 試験会場での受付

予約した時刻から試験がスタートしますので、遅くとも予約時刻の「30 分前～15 分前」を目安に試験会場（テストセンター）の受付にお越しください。

（予約時刻より 30 分以上前にお越しいただいた場合、会場に入れない場合があります）

なお、商業ビルや施設内に入居する小規模の試験会場もありますので、会場の場所は事前に確認されることをお勧めします。

※スマートフォン、時計類、電卓などの私物は、所定のロッカー等に収納してください。

※試験室に持ち込める物

・試験室に持ち込める物は、受付で手渡される受験ログイン情報用紙と筆記用具、メモ用紙だけです。

・水の持ち込みは、健康管理上の観点から、以下の条件を満たすものに限り許可します。

無色透明のペットボトルであること

試験の公平性・厳正性を保つため、ペットボトルのラベルはすべて剥がすこと

飲み終わったら必ずキャップを閉めること

1 人につき 1 本までとし、容量は 1000ml 以下であること

試験中は、ペットボトルを机の上に置くこと

- 水以外の飲み物（お茶、ジュース、コーヒーなど）、着色された飲み物、または不透明な容器に入った飲み物は持ち込みできません。

4. 受験要領の事前確認　（試験会場ではオリエンテーションはありません）

CBT 方式試験では試験監督者、会場スタッフによるオリエンテーションや開始の合図はなく、パソコン画面上に簡単な操作案内が掲示されます。家電製品協会認定センターのホームページ（https://www.aeha.or.jp/nintei-center/procedure/information/cbt/）にて、試験の開始や終了の手順なども紹介していますので、事前にご確認ください。

5. 試験時間の基本ルール（トイレ休憩等）

CBT 方式試験では、不正防止の観点から、試験開始後は「原則として退室は禁止」というルールに則り運営されています。しかしながら、受験者の健康管理上の観点から、以下の運用を適用します。

なお、各科目の試験中に退室する場合は、進行中の試験時間を止めることはできません。

（1科目めの試験終了後、次の科目の試験は「試験開始」ボタンをクリックするまで始まりません。）

① 受験中に体調が悪くなった場合は、すぐに会場スタッフに申し出て、その後の指示に従ってください。

② 受験中にトイレに行く場合は、会場スタッフに申し出て許可を得た後、静かに退室の上、速やかに試験に復帰してください。

必要以上に時間が経過したと見なされた場合は、再入室を認めないことがありますのでご注意ください。

③ トイレ・補水などの休憩をとる場合は、科目の試験終了後、次の科目の試験開始までにとることが可能です。

なお、休憩時間の1科目当たりの上限は5分のため、複数科目受験の場合の合計時間（1科目当たり5分×科目数）を超過した場合、以降の科目の試験時間に食い込む可能性がありますので、ご注意ください。

また、各科目の試験を所定の 55 分間よりも早く終えた場合は所定時間を待つことなく「試験終了」ボタンで試験を終了することができ、5 分間の休憩取得、あるいはそのまま続けて次の科目の試験を開始することもできます。

6. 万一、不正行為が発覚した場合は、その時点で試験の中止を命じ、試験の結果を無効とします。　以上